北極域実践コミュニティ

VOICES from the ARCTIC

Vol.20 / 2023.2.10

ArCS II 国際政治課題 北極域実践コミュニティ事務局

気候変動による北極圏の温暖 化で、カナダ・ハドソン湾の ホッキョクグマの生息数激減



政府の報告書によると、カナダのハドソン湾 西部ホッキョクグマの個体数はわずか5年間で 27%減少しており、気候変動が影響を与えて いることが示唆されている。ヌナブト連邦政 府の評価では、2021年にはわずか618頭にな り、1980年代からおよそ50%減少しているこ とが判明した。

記事参照:Canada's Hudson Bay polar bear population plummets as climate change warms the Arctic - ArcticToday (2022.12.27/Arctic Today)



A polar bear rests after sparring with another bear near the Hudson Bay community of Churchill, Manitoba on November 20, 2021. (Carlos Osorio / Reuters File Photo)

カナダの鉱山会社 ヌナブトの 鉄鉱山継続に取り組む



バフィンランド・アイアン・マインズ社は、メアリー・リバー鉄鉱石鉱山の操業を継続するための提案を練っている。バフィンランドは、メアリー・リバーの事業を存続させるためには拡張が必要だとしていた。しかし、政府による拡張の承認が得られなければ、鉱山を閉鎖せざるを得ないかもしれない。記事参照:Canadian miner working on proposal to keep Nunavut iron mine open - ArcticToday(2022.12.28/Arctic Today)



Baffinland staff meet with community members in Arctic Bay on Dec. 8, as part of consultations on the company's sustained operations proposal. (Baffinland via Nunatsiag News)

北極圏探検クルーズの大半が ロシアを避けるように



ウクライナ戦争や地政学的な混乱でロシアとの緊張がさらに高まる懸念があることから、クルーズ業界にも影響が及んでいると専門家は指摘する。数年前までは、北緯80度の氷河に覆われた群島、フランツ・ジョセフ・ランドへの航行許可を得るために、外国のクルーズ船がロシアとの協定締結に列をなしていた。現在では、ほとんどの探検クルーズ船が旅程を変更しロシアへの航海を中止しているため、富裕層の外国人観光客は北極圏に到達するのに大きな問題を抱えることになる。記事参照:Most Arctic expedition cruises lines are now avoiding Russia - ArcticToday(2022.12.21/Arctic Today)



An expedition cruise ship lies off the Bolshoy Zayatskiy Island in Russia's White Sea. (Thomas Nilsen / The Independent Barents Observer)

エニのVaar Energi社、 北極圏のガスを発見



イタリアのエニ社が過半数を所有するノルウェーのヴァール・エネルギ社は、北極圏バレンツ海のゴリアテ油田付近でガスを発見し、この地域での長期的な拡張計画を支持すると、金曜日に発表した。このガス発見の規模は、回収可能な石油換算で5700万から1億3200万バレル、または900万から2100万標準立方メートルとされている。ノルウェー石油総局は別の声明で、「ライセンシーは後日、この発見をゴリアテ油田の既存のインフラに結びつけることを検討する」と述べている。記事参照:Eni's Vaar Energi makes Arctic gas discovery - ArcticToday(2022.12.23/Arctic Today)



Eni's logo is seen in front of its headquarters in San Donato Milanese, near Milan, Italy on April 27, 2016. (Stefano Rellandini / Reuters File Photo)

グリーンランドの政治史に 光を当てる膨大な新しい地図 コレクション

地図は権力者の野望を映す鏡であり、製作者 の夢を描いた肖像画である。それは世界最大 の島、グリーンランドにおいても同様だ。過 去から現在に至るまで、ヨーロッパの王たち の帝国構想からデンマークの植民地化、アメ リカの戦略的利益まで、世界におけるグリー ンランドの位置づけを理解しようとするな ら、この島の地図は驚くべき洞察を与えてく れる。そして、デンマークの地理学者、地質 学者、歴史家であるヘンリック・デュポンほ ど、グリーンランドの地図製作の歴史を熟知 している人物はいないだろう。彼は37年間、 コペンハーゲン王立図書館の地図・写真部門 に勤務していたが、このたび、数多くの図書 館や公文書館から、これまでに製作されたグ リーンランドの地図で追跡可能なものをすべ て探し出すという困難な作業を完了させた。 記事参照:An extensive new map collection sheds light on Greenland's political history -ArcticToday (2022.12.30/Arctic Today)



This excerpt from a map from 1482 was the first to indicate that Greenland was not uninhabited. It was inspired most likely by Claudius Clavus, a Danish theologian living in Rome well versed about Greenland, Iceland and Scandinavia. (Royal Danish Library)

ロシアの欧州向けパイプライ ンガス輸出が崩壊 ソ連崩壊後の最低水準に



ロシアのパイプライン経由の欧州向けガス輸出は、ウクライナ紛争による最大顧客の輸入削減と主要パイプラインの謎の爆発による損傷で、2022年にソ連崩壊後の最低水準に急落したことが、ガスプロムのデータとロイターの計算で明らかになった。伝統的にロシアの最大の石油・ガス消費者であるEUは、長年にわたりロシアのエネルギーへの依存度を減らすことを公言してきたが、2月にクレムリンがウクライナに軍隊を派遣した後、ブリュッセルは本腰を入れた。

記事参照: Russian pipeline gas exports to Europe collapse to a post-Soviet low -ArcticToday (2022.12.28/Arctic today)

カナダ、北極海海底の領有権 をロシア海域まで拡大



カナダは北極海海底の領有権を大幅に拡大した。カナダの要求は現在、ロシアの排他的経済水域に至るまで数カ所に及んでいる。 記事参照:Canada extends its Arctic Ocean seabed claim all the way to Russian waters - ArcticToday(2022.12.21./Arctic Today) 北極域は、気候変動の影響により大きな変化に直面しています。その変化は、自然環境のみならず、

17個域は、気候変動の影響により大きな変化に直囲しています。その変化は、自然環境のみならす、政治経済、社会、北極先住民及び住民の生活や暮らしにも及び、それらが複合的に絡み合った形で相互作用しています。こうした変化への適応、適応能力やレジリエンスの育成のプロセスは、複雑で予測困難な社会的課題であると同時に、現地住民のwell-beingを獲得するための機会となっています。

『北極域実践コミュニティ VOICES from the ARCTIC』は、北極域実践コミュニティの情報発信の活動の一環として、北極域の多岐にわたる社会的課題やその解決に向けた取組に関連するニュースを集めて、ダイジェストしたものです。北極域の社会的課題と世界的な課題との関連性を示すため、国際連合『持続可能な開発目標(SDGs)』の17の目標との対応関係を各ニュースに付しています。今回のVol.20は、2022年12月後半のニュースを掲載しています。

発行元:ArCS II 国際政治課題 北極域実践コミュニティ事務局

監 修:大西富士夫(北海道大学北極域研究センター)

E-mail: tdcop@arc.hokudai.ac.jp

WEBサイト: https://tdcop.arc.hokudai.ac.jp/



